

栄中だより

令和4年 2月 1日(火)
栄町立栄中学校
発行責任者 大野 真裕
〒270-1516 栄町安食55番地
TEL 0476-95-0011

<令和3年度学校教育目標>

確かな学力を身につけ、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成

学力向上とは

校長 大野 真裕

栄中学校では、読解力を養うために、視写活動を今年度より行っています。2学期に体育祭や合唱コンクールがあり、そのための練習時間を確保するために、『栄タイム』の時間が使用されることとなり、視写の時間を確保することが困難となりました。3学期に入り、予餞会や卒業式の歌練習等が行われるため、「栄タイム」の時間に視写を行うことが難しくなるため、朝読書の時間を使って行うこととしました。

そもそも、何のための視写活動なのでしょう。視写を行う先にはどのような力が養われることとなるのでしょうか。

1つ目は、書く速度が速くなるということです。授業中に、黒板をノートに書き写す作業があります。書き終わる速さが生徒によって大きく違うので、授業中に、全員が書き終わるまで待っていると、ロスタイムが生まれます。中学1年生の授業では、大きな問題となるのが、毎年のことです。ある高校で、視写の時間を設け取り組んだところ、一人ひとりの速さが格段に上がり、作業能率の向上が著しく伸びたとのこと。また、早い生徒と遅い生徒の力の差が縮小されたということです。学習効率が上がるということは、同じ1コマの時間を使ってもっと先に進めることができたり、詳しく、深く学びの時間をつくることができるということです。

2つ目は、読解力があがるということです。お手本を写す際には、お手本を見て、文字をある程度記憶しながらノートに書き写します。書く速さが早い生徒と遅い生徒の違いは、1回の目配り（お手本を見て覚えること）で、何文字の文を記憶し、お手本を見ないでノートに書き写すことができるのか、お手本を見る回数が少ないということは、覚えられる文字数が多いということ。早い生徒は1回の目配りでたくさんの文字数をノートに書き写すことができます。さらに、多くのことを記憶できるということは、1回に読むことができる分量が多く、その意味を理解できているということです。この能力は、頭がいい、悪いということではなく、訓練することでだれでも伸ばすことができます。

記憶力がいいか悪いかという基準で、この活動を考えるのではなく、読み取ることができる分量を増やす訓練であるということです。簡単に言うと、読む速度を上げながら、書いてある内容を理解することができるようにしていく訓練なのです。

3つ目に、そもそも学力向上が目指していることは何なのでしょう。良い高校に入るため？テストでよい点を取るため？私はそのような目先の目的ではないと考えています。もちろん、自分の目指す高校やテストでよい点を取るという目標はそれはそれで大切です。しかし、他の一面では、この世の中を賢く生きていくために必要な力だということです。

その一例として、ある高校に、不本意入学（自分の入りたい高校でない高校に進学すること）で入学し、目標もないまま高校生活を送り、高校生でありながら、妊娠してしまうという境遇になってしまう女子高生がいました。ほかにも、目標がない高校生活で、その学校の雰囲気は荒れている状況であったようです。その高校では、このように荒れた生徒の状況の改善のために、生徒に必要な学びを準備しました。妊娠して、赤ちゃんを育てなくてはならないその女子高生は、高校に通いながら、子どもを育てるという生活を選択します。考えただけでも大変な生活が待っていることは、想像できますね。そこで、生計を



維持していくためにはどのようにしたらよいのかを、その高校では学びに加えました。それは、役所に行って、保護を受ける制度を学びにしたということです。世の中には困ったときに利用できる制度がたくさんあります。しかし、この制度の存在を知らないの、困ったままの生活から抜け出せない人が多いのが現状です。(貧困の連鎖) まず、役所に行って相談して利用できる制度について聞く。そして、必要な書類を書いたり、必要な証明書を準備したりするには、その制度を利用するために書かれた書面を読んで理解しなければなりません。女子高生は、高校で、このような仕組みや書類の準備の仕方、書き方などを学び、子どもを育てながら、保護申請をして、自分で自分の生活を作り出す力を養いました。また、親元を離れて、アパートを借りるなど、大人としての生活をはじめました。現在、成人した彼女は、社会の中でたくましく生きていくために、子どもを育てながら資格取得に向けて勉強しています。働きながら資格を取ることは大変なことです、資格を持っているとお給料が今までよりも上がります。

今述べてきたことは「学力の向上が、生きる力に結び付く」という一例です。文字を読んで、理解できるようにすることは、ピンチに陥った自分自身を助けてくれたり、ステップアップする自分をつくってくれたりします。

このようなことから、社会に出ても自分で自分の道を切り開いていけるように「学力の向上」に資する視写活動を栄中では行っています。まだまだ始まったばかりで、結果が出るまでには多くの時間を要することが予想されますが、「継続は力なり」という言葉を信じて、自分の可能性の枠を広げてほしいと願っています。がんばろう栄中！

2月の行事予定

1	火		16	水	1・2年第4回定期テスト
2	水	学級優先日	17	木	1・2年第4回定期テスト 公立高校入試志願変更期間
3	木	新入生保護者説明会 部活動休養日	18	金	1・2年第4回定期テスト リーダー会議・全校評議会 公立高校入試志願変更期間
4	金	予餞会実行委員会	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	専門委員会 3年生自宅学習日
7	月	部活動休養日	22	火	3年自宅学習日
8	火	さみどり学級卒業を祝う会	23	水	天皇誕生日
9	水	公立高校入試出願日 学級優先日	24	木	公立高校入試1日目 学級優先日 学校評議員会議
10	木	公立高校入試出願日 お助け塾 予餞会実行委員会	25	金	公立高校入試2日目 学級優先日
11	金	建国記念の日	26	土	
12	土		27	日	
13	日	テスト前3日前諸活動停止	28	月	公立高校追検査受付
14	月	公立高校入試出願 職員会議 部活動休養日	3月1日～2日 3年修学旅行代替行事予定		
15	火				

いじめ相談窓口

鈴木良平教諭 御堂 恵教諭
新井博之教諭 三橋佐知子教諭
大坂将大教諭 菊池早苗教諭
柳澤晶子養護教諭 宮井久貴教頭



セクハラ相談窓口

加山絢子教諭 三橋佐知子教諭
御堂 恵教諭 新井 博之教諭
鈴木良平教諭 片瀬 実教諭
柳澤晶子養護教諭 宮井久貴教頭

☆新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染拡大を予防しましょう。再度確認します。

- ① マスクの着用 ② 手洗い・消毒の励行 ③ 「3密」を避ける ④ 不要不急の外出は控える